

薬には病気を治したり、<sup>しやうじやう</sup>症状をやわらげたりする効果がある一方、副作用があらわれることがあります。医師に指示された用法・用量にしたがって使用してください。体調が良くなったと自分で判断し、使用することをやめたり、量を加減したりすると、病気が悪化することがあります。薬のことでわからないこと、心配なことなどがありましたら、医師や<sup>やくざいし</sup>薬剤師に相談してください。

メプチン吸入液 0.01%、メプチン吸入液ユニット 0.3mL、0.5mL

一般名： プロカテロール塩 酸塩水和物 (Procaterol Hydrochloride Hydrate)	販売名	メプチン吸入液 0.01%	メプチン吸入液ユニ ット 0.3mL	メプチン吸入液ユニ ット 0.5mL
	形状	 無色透明の 液体		

1.どんな薬

- この薬は、気管支の筋肉に働きかけて、<sup>せま</sup>狭くなった気道を広げ、呼吸を楽にします。[気管支 <sup>かくちやうざい</sup>拡張剤]

2.この薬を使用できない人、特に注意して使用する必要がある人

- ⊗ 次の人はこの薬を使用できません。必ず医師や<sup>やくざいし</sup>薬剤師に相談してください。
  - ・過去にメプチン吸入液に含まれる成分で <sup>かびんしやう</sup>過敏症 のあった人
- 次の人は特に注意が必要です。使い始める前に医師や<sup>やくざいし</sup>薬剤師に相談してください。
  - ・<sup>こうじやうせん</sup>甲状腺 <sup>こうしんしやう</sup>機能 亢進症 ( <sup>こうじやうせん</sup>甲状腺 <sup>こうじやうせん</sup>機能が 高い ) の人
  - ・高血圧の人
  - ・心臓に障害のある人
  - ・<sup>とうじやうびやう</sup>糖尿病 の人
  - ・<sup>ていさんそけっしやう</sup>低酸素血症 ( 血液中の酸素が少ない状態 ) の人
  - ・<sup>にんが</sup>妊婦 または <sup>にんしん</sup>妊娠 している可能性がある人
  - ・授乳中の人
- この薬には一緒に使用してはいけない薬や、一緒に使用する場合に注意が必要な薬があります。他の薬を使用している場合や、新たに使用する場合は、必ず医師や<sup>やくざいし</sup>薬剤師に相談してください。

3.この薬を使うにあたり注意すべき副作用・注意すべきこと

- この薬の使用により、以下のような <sup>しやうじやう</sup>症状 があらわれることがあります。これらの <sup>しやうじやう</sup>症状 に気づいたら、医師や<sup>やくざいし</sup>薬剤師に相談してください。

主な <sup>しやうじやう</sup> 症状	考えられる副作用など
めまい、ドキドキする、脈が遅くなる、気を失う、脈がとぶ	不整脈 [心臓に障害のある人]
ドキドキする	<sup>どうき</sup> 動悸 [心臓に障害のある人]

- 過度に使い続けると、不整脈 (脈が乱れる)、場合によっては心停止 (心臓が止まる) を起こすことがあります。特に発作が起きた時は使いすぎになりやすいので十分に注意してください。 使いすぎによる危険性をよく理解し、指示された使い方や使う量を守ってください。
- 正しく使っても効果が感じられない場合は、医師に相談してください。
- 子どもが使う場合は、保護者の方も正しい使用方法を理解して <sup>かんとく</sup>監督 してください。
- 発作が重くて吸入しても効果が不十分な場合は、できるだけ早く <sup>いりやうきかん</sup>医療機関 を <sup>じゆしん</sup>受診 してください。

4.ほかに知られている副作用

「3. この薬を使うにあたり注意すべき副作用・注意すべきこと」に記載されている副作用のほか、比較的よくみられる副作用の一例は以下のとおりです。これら以外の副作用もあらわれることがあります。これらの症状や、普段と異なる症状に気づいたら、医師や薬剤師に相談してください。

主な症状	考えられる副作用
頭が痛い、頭が重い感じがする	頭痛・頭重感
手足のふるえ、首のふるえ	振戦
吐き気、吐く	嘔気・嘔吐

## 5. 保管方法

光と湿気をさけて室温（1～30℃）で保管してください。子どもの手の届かないところに保管してください。使用后、吸入器具（ネブライザー）に残った液は捨ててください。

〈吸入液 0.01%〉

開栓後は清潔に取り扱い、容器内に他の薬や異物が入らないように注意してください。

〈吸入液ユニット 0.3mL、0.5mL〉

使用直前に開封し、1回で使い切ってください。

## 6. 問い合わせ先

症状、使用方法、副作用などについて不明な点がある場合は、医師や薬剤師におたずねください。

この製品に対する一般的な事項に関する質問は下記へお問い合わせください。

製造販売業者：大塚製薬株式会社 (<https://www.otsuka.co.jp>)

電話：0120-922-833（医薬情報センター）、受付時間：9時～17時（土、日、祝日、休業日を除く）

※医薬品副作用被害救済制度：お薬は正しく使っていても、副作用が起こることがあります。もしも副作用で重い健康被害が生じた場合に、医療費や年金などの給付が受けられる公的な制度です。

制度の詳細はこちらをご覧ください。

[https://www.pmda.go.jp/kenkouhigai\\_camp/index.html](https://www.pmda.go.jp/kenkouhigai_camp/index.html)

なお、抗がん剤、免疫抑制剤や抗ウイルス薬などにはこの制度の対象にならないものがあります。対象外となる医薬品はこちらから検索いただけます。

<https://www.pmda.go.jp/relief-services/adr-sufferers/0022.html>